

# 全国標準積算資料

(土質調査・地質調査)

令和5年度改訂歩掛版

令和5年9月15日 発行予定

全国標準積算資料

土質調査・地質調査

令和5年度改訂歩掛版

発行 (社)全国地質調査業協会連合会  
定価 9,350円(税込)

## ■ 全国標準積算資料(土質調査・地質調査)

- ◇ 国土交通省をはじめとする国や地方公共団体、民間会社等において、価格算定の基礎資料として採用されている積算資料
- ◇ 昭和40年初版発行、実勢に合わせて改定を重ね、今回が第14回目改定
- ◇ 地質調査に必要となるすべての調査項目について標準歩掛を網羅し、業務条件に応じて標準歩掛の補正係数などを設定

## ■ 令和5年度改訂歩掛版の主な改訂点

- ◇ 令和5年度改訂歩掛版は、令和2年度発行の小改訂版に続く大改訂版として発行  
実勢に合わせて積算体系及び多くの歩掛を見直し
- ◇ 調査業務の諸経費を企業実態に合わせて改定、諸経費率を見直し
- ◇ 標準歩掛の数量や補正係数等の見直し
- ◇ 地質リスク調査検討業務、BIM/CIM活用業務(地質・土質モデルの作成)、水上足場用仮栈橋  
組み立て解体費、車両給水費、泥水処理費、試掘、舗装取り壊し試掘、舗装取り壊し掘削等、微  
動探査、安心トイレなど新規項目の追加
- ◇ 物理探査の測線長に対する補正係数を実勢に合わせて見直し
- ◇ 地滑り調査関連で、全自動計測の歩掛を新設
- ◇ 積算の簡便化に向けた見直し、積算資料利用者からのご意見を踏まえた各種見直し

## ■ 申込および問い合わせ先

一般社団法人 中部地質調査業協会 事務局

〒461-0004

名古屋市東区葵三丁目25番20号 ニューコーポ千種橋403

TEL: 052-937-4606

FAX: 052-937-4607

E-mail office@chubu-geo.org

**第I編 総則**

- 第1章 積算構成
- 第2章 基準人件費
  - 2-1 職種区分（コンサルティング業務、調査業務）
  - 2-2 基準日額の算出方法
- 第3章 主要部品および主要材料
  - 3-1 ボーリング材料
  - 3-2 ボーリング付属品
  - 3-3 ダイヤモンドビットの1m当たり歩掛表
- 第4章 機械経費
  - 4-1 機械等損料
  - 4-2 動力費
- 第5章 諸経費など
  - 5-1 コンサルティング業務
  - 5-2 調査業務
- 第6章 その他
  - 6-1 電子成果品の作成
  - 6-2 調査管理費
  - 6-3 旅費、日当、宿泊費
  - 6-4 運搬
  - 6-5 地盤情報データベースへの登録
  - 6-6 共通仮設費
  - 6-7 補正係数のかけ方

**第II編 コンサルティング業務**

- 第1章 地質調査におけるコンサルティング業務
  - 1-1 コンサルティング業務の対象と範囲
- 第2章 コンサルティング業務の積算
  - 2-1 地質調査のコンサルティング業務
    - 2-1-1 調査計画の立案業務
    - 2-1-2 打合せ協議・計画準備等の業務
    - 2-1-3 調査の成果品作成等の業務
    - 2-1-4 解析・検討（沈下・安定解析、液状化判定等）
  - 2-2 地すべり調査のコンサルティング業務
    - 2-2-1 標準積算内訳表
    - 2-2-2 計画・準備など（計画・準備、測線設定踏査等）
    - 2-2-3 総合解析（地質解析、機構解析、安定解析等）
    - 2-2-4 近似三次元解析（総合解析、安定解析等）
    - 2-2-5 対策工設計（アンカー工、集水井工等）
  - 2-3 地表地質踏査（現地調査、解析、報告書作成等）
  - 2-4 空中写真判読
  - 2-5 試掘横坑調査（現地調査、解析、報告書作成等）
  - 2-6 ボーリングコア調査（現地調査、解析、報告書作成等）
  - 2-7 岩盤せん断試験（現地調査、測定、解析、報告書作成）
  - 2-8 トレンチ調査（現地調査、解析、報告書作成等）
  - 2-9 盛土の動態観測（計画立案、現地踏査等）
  - 2-10 急傾斜地調査（踏査、総合解析、法面工予備設計等）
  - 2-11 道路防災点検業務
  - 2-12 地質リスク調査検討業務
  - 2-13 BIM/CIM 活用業務

**第III編 調査ボーリング**

- 第1章 ボーリング機器
- 第2章 仮設費
  - 2-1 仮設費の積算条件
  - 2-2 小運搬（クローラ、モノレール等）
  - 2-3 足場設置費
  - 2-4 機械据付・撤去費
  - 2-5 給水費

- 2-6 泥水処理費
- 2-7 ボーリング孔閉塞費
- 2-8 試掘、舗装の取壊し・復旧（ボーリング、CBR 調査等）

**第3章 ボーリング**

- 3-1 土質ボーリング
  - 3-1-1 土質ボーリングの概説
  - 3-1-2 価格算出の条件
  - 3-1-3 土質ボーリング標準歩掛（ノンコアボーリング）
  - 3-1-4 土質ボーリング標準歩掛（オールコアボーリング）
  - 3-1-5 オーガーボーリング標準歩掛
- 3-2 サンプリング
  - 3-2-1 サンプリングの種類
  - 3-2-2 固定ピストン式シンウォールサンプリングおよびロータリー式二重管サンプリング
  - 3-2-3 ロータリー式三重管サンプリング
- 3-3 岩盤ボーリング
  - 3-3-1 岩盤ボーリングの分類と工法
  - 3-3-2 岩盤ボーリングの積算について
  - 3-3-3 価格算出の条件
  - 3-3-4 岩盤ボーリング標準歩掛
- 3-4 高品質ボーリング

**第IV編 探査・計測・試験**

**第1章 物理探査**

- 1-1 屈折法弾性波探査
- 1-2 浅層反射法探査（反射法地震探査）
- 1-3 電気探査
- 1-4 地中レーダ探査
- 1-5 表面波探査（レイリー波探査）
- 1-6 1m深地温探査
- 1-7 微動探査
  - 1-7-1 2次元・3次元微動探査
  - 1-7-2 1次元微動アレイ探査
- 1-8 常時微動測定
- 1-9 ジオトモグラフィ
- 1-10 VSP探査

**第2章 水文調査**

- 2-1 標準積算内訳表
- 2-2 計画・準備費（A）、（B）
- 2-3 現地踏査資料検討費
- 2-4 観測データ解析費
- 2-5 水文地質踏査解析費
- 2-6 総合水文地質解析
- 2-7 影響予測解析費
- 2-8 水源の影響判定
- 2-9 報告書作成費
- 2-10 水文環境調査費（井戸調査、河川調査等）
- 2-11 水収支調査および水源調査費（降水、河川等）
- 2-12 水文地質調査費

**第3章 孔内計測・孔内試験**

- 3-1 主として土質調査で実施される孔内計測・孔内試験
  - （標準貫入試験、孔内水平載荷試験、現場透水試験、間隙水圧測定、地下水流行流速測定等）
- 3-2 主として岩盤調査で実施される孔内計測・孔内試験
  - （岩盤透水試験、孔内微流速測定、ボアホール等）
- 3-3 地すべり調査で実施される観測
  - 3-3-1 伸縮計（地表）
  - 3-3-2 傾斜計（地表）
  - 3-3-3 パイプ式ひずみ計

- 3-3-4 挿入式孔内傾斜計
- 3-3-5 伸縮計(地中)(多層移動量計、伸縮計)
- 3-3-6 水位計
- 3-3-7 地下水検層
- 3-3-8 簡易揚水試験
- 3-3-9 間隙水圧計
- 3-3-10 ブロックサンプリング
- 3-3-11 地下水追跡
- 3-3-12 水質分析
- 3-3-13 移動杭調査
- 3-3-14 雨量観測
- 3-3-15 警報機サイレン
- 3-3-16 設置観測機器の保守点検

3-4 物理検層(PS、電気、温度、音波、密度等)

#### 第4章 原位置での計測・試験

- 4-1 サウンディング  
(スクリーウエイト貫入試験、電気式コーン貫入試験、SH型貫入試験、液状化ポテンシャルサウンディング、高貫入力電気式コーン貫入試験等)
- 4-2 土石流監視システムの配置計画・設置
- 4-3 主として盛土の動態観測で実施される計測  
(地表面変位杭、沈下計、層別沈下計)
- 4-4 その他の計測・試験  
(現場密度試験、平板載荷試験、CBR 試験、アンカーのり面の健全性調査)

### 第V編 土壌・地下水汚染調査

#### 第1章 土壌・地下水汚染調査の積算

- 1-1 土壌・地下水汚染調査の積算構成
- 1-2 職種区分
- 1-3 土壌・地下水汚染調査の標準的積算系統

#### 第2章 土壌・地下水汚染調査

- 2-1 地歴調査  
資料調査、聴取調査、現地調査等
- 2-2 表土調査(試料採取等)  
土壌試料採取、土壌ガス採取等
- 2-3 深度方向調査の計画立案
- 2-4 ボーリング調査(詳細調査を含む)
- 2-5 地下水観測井
- 2-6 ボーリング孔閉塞費
- 2-7 公定法分析(化学分析)
- 2-8 地盤解析
- 2-9 考察・報告書作成等
- 2-10 モニタリング

#### 第3章 環境デューデリジェンス(フェイズ I 調査)

- 3-1 打合せ協議
- 3-2 資料調査
- 3-3 現地調査
- 3-4 聴取調査
- 3-5 考察・報文執筆

#### 第4章 共通仮設

- 4-1 準備費
- 4-2 安全費
- 4-3 補償費
- 4-4 営繕費

### 第VI編 海上地質調査

#### 第1章 運搬

- 1-1 機材設備運搬  
鋼製櫓運搬費、スパッド台船運搬費
- 1-2 試料運搬

- 1-3 作業備船料
- 1-4 作業備船回航費

#### 第2章 仮設

- 2-1 概説
- 2-2 海上足場の種類と選択
- 2-3 海上足場組立解体費
- 2-4 海上足場の設置・移動および撤収費
- 2-5 機械組立解体費
- 2-6 鋼製櫓の製作費

#### 第3章 共通仮設

- 3-1 準備費
- 3-2 安全費
- 3-3 環境保全対策費

#### 第4章 海上地質調査の積算上の留意点

- 4-1 不稼働率と作業能率
- 4-2 海上作業割増し

### 第VII編 地盤材料試験

#### 第1章 地盤材料試験(土質試験)

土粒子の密度試験、土の湿潤密度試験A法(寸法測定法)、土の圧密試験、土の一軸圧縮試験、土の三軸圧縮試験、土の繰返し非排水三軸試験(液状化特性)、土の水溶性成分含有量試験、湿潤法(非繰返し法)、土の変形特性を求めるための繰返し三軸試験(変形特性)等

#### 第2章 地盤材料試験(岩石試験)

静弾性係数試験、静ポアソン比試験、引張強度試験、超音波伝播速度測定、岩石の三軸圧縮強度試験、せん断強度試験、一軸クリープ試験、AE測定試験、岩石の膨潤応力試験等

### 第VIII編 共通仮設

#### 第1章 準備費

- 1-1 調査打合せ、現地踏査
- 1-2 機材準備、跡片付け
- 1-3 用地交渉
- 1-4 占用許可手続、作業申請手続
- 1-5 測量費

#### 第2章 安全費

- 2-1 保安対策費
- 2-2 交通対策費
- 2-3 環境保全対策費
- 2-4 夜間対策費
- 2-5 雪寒対策費
- 2-6 道路補修費
- 2-7 熱中症予防対策費
- 2-8 安心トイレ(車載型、簡易式)

#### 第3章 補償費など

- 3-1 踏荒し補償費
- 3-2 立木伐採補償費
- 3-3 漁業補償費
- 3-4 借地料

#### 第4章 営繕費、その他

- 4-1 事務所建設費
- 4-2 火薬類取扱所および火工所設置費
- 4-3 発破孔埋め戻し費
- 4-4 ボーリング孔閉塞費
- 4-5 埋設物事前確認および復旧

令和5年度改訂歩掛版 主な改訂内容

項目	主な改訂内容
<p>第Ⅰ編 総則</p>	<p>〔変更〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2-1 節 「職種区分」 *コンサルティング業務に従事する職種の区分および学歴経験の基準の記述に「技術士」を追加</li> <li>・ 4-1 節 「機械等損料」 *ボーリングマシンなど損料率一覧表の規格に付記 *各種試験器損料率一覧表の名称追記, および損料率の見直し *リース, レンタル等による各種機器一覧表の加筆修正</li> <li>・ 5-2 節 「調査業務」 5-2-1 「業務管理費」の説明文書の一部見直し, 業務管理費の算出式を新設 5-2-1 「一般管理費」の説明文書の一部見直し, 一般管理費の算出式を新設 5-2-3 「諸経費の算出方法」について, 全地連内部でのアンケート調査を基に, 新たな算出方法へ見直し</li> <li>・ 6-2 節 「調査管理費」の算出式を見直し</li> <li>・ 6-4 節 「運搬」 6-4-1 「ボーリング用機材運搬」の説明文書の一部見直し 6-4-3 「試料運搬」の説明文書の一部見直し</li> <li>・ 6-6 節 「共通仮設」について追記</li> </ul> <p>【歩掛の新設】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6-7 節 「補正係数のかけ方」を新設</li> </ul> <p>*質問が多いことから追加した。</p>
<p>第Ⅱ編 コンサルティング業務</p>	<p>〔変更〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2-1 節 「地質調査のコンサルティング業務」 2-1-4 「解析・検討」の直接経費の見直し *杭の支持力, *直接基礎と圧密沈下, *土留排水工法, *液状化の予測・判定 *静的応力・変形解析 (①二次元FEM解析 (線形および非線形)) *地震応答解析, *路床, 路盤の判定の直接経費の見直し</li> <li>・ 2-2 節 「地すべり調査のコンサルティング業務」 説明文の見直し 2-2-4 「近似三次元解析」の名称を見直し (「近似」を追記) *設計協議の歩掛を見直し</li> <li>・ 2-3 節 「地表地質踏査」 2-3-6 「各種条件による補正」の補正係数を見直し</li> <li>・ 2-5 節 「試掘横坑調査」 2-5-5 「報告書作成」の注釈を一部削除</li> <li>・ 2-11 節 「道路防災点検業務」 *新しく公開された『道路防災点検の手引き (改訂版)』, 『三次元点群データを活用した道路斜面災害リスク箇所の抽出要領 (案)』に準拠するために標準歩掛を見直した。特に, 「防災カルテ」の新規作成に関する歩掛が付加された。</li> <li>・ 2-12 節 「地質リスク調査検討業務」 *説明文の見直し</li> </ul> <p>【歩掛の新設】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2-12 節 「地質リスク調査検討業務」 *地質リスク予備検討業務 (計画立案 (概略設計) 段階) を新設 *地質リスク調査検討業務 (構想計画段階), * (調査・設計段階), * (詳細設計段階) を新設 *「既往資料の収集・現地踏査」における, 地質リスク調査検討業務と地質調査業務との対比を新設</li> <li>・ 2-13 節 「BIM/CIM 活用業務 (地質・土質モデルの作成)」 *『BIM/CIM 関連基準要領等 (令和5年3月)』に基づき, 歩掛を新設</li> </ul>

第Ⅲ編  
調査ボーリング

- 〔変更全般〕
- ・複数の歩掛にて積算の簡便化に関する見直し
- 〔変更〕
- ・1-3節 「ボーリング機材質量」
    - \*標準足場材料 その他の付属品質量表の分類の一部見直し
  - ・2-2節 「小運搬」
    - \*小運搬方法一覧表の説明一部見直し
    - 2-2-1 「人肩運搬」の歩掛構成・数量等の見直し
    - 2-2-4 「モノレール架設運搬」実績調査に基づき歩掛を見直し
      - \*説明文書の見直し
      - \*歩掛の根拠となる標準的な作業内容について冒頭に解説
      - \*従来通り 200kg 積載用と 500kg 積載用との2種類について、「モノレール架設・撤去」, 「モノレール機械損料」, 「モノレール運搬」について歩掛作成
      - \*「モノレール機械損料」では, 期間及び総設置距離に対する補正係数を設定
      - \*「モノレール運搬」では, 歩掛の根拠となる計算方法を例示
  - ・3-1節 「土質ボーリング」
    - 3-1-2 「価格算出の条件」深度補正に関する計算例を提示
    - 3-1-3 「土質ボーリング標準歩掛（ノンコアボーリング）」
      - \*歩掛構成・数量等の一部見直し
- 【歩掛の新設】
- ・2-2節 「小運搬」
    - 2-2-3 「クローラ運搬」要望の多かった1,000～1,500mの歩掛を新設
  - ・2-3節 「足場設置費」
    - 2-3-4 「水上足場用栈橋組立解体費」
      - \*要望の多かった通勤・運搬用仮栈橋の組立・設置・撤去の歩掛を新設
  - ・2-5節 「車両給水費」
    - \*実形態に合致する様, 集水タンク設置及び車両給水に係る歩掛を新設
  - ・2-6節 「泥水処理費」従来の「産業廃棄物処理費」を廃止し, 新設・改訂
  - ・2-8節 「試掘, 舗装の取壊し・復旧」従来の「埋設物事前確認および復旧」を廃止し, 新設・改訂
    - \*試掘, \*舗装取壊し試掘〔ボーリング調査〕, \*舗装取壊し掘削等〔埋設物調査〕〔CBR調査〕として, 多様な試掘形態に対応・選択可能とした。
  - ・3-1節 「土質ボーリング」
    - 3-1-4 「土質ボーリング標準歩掛（オールコアボーリング）」
      - \*φ116mm10m当たり歩掛表（オールコアボーリング）の新設

第Ⅳ編  
探査・計測・試験

- 〔変更全般〕
- ・実勢価格との整合を図るため, 直接経費（材料費・機械等損料）・数量の一部見直し
  - ・複数の歩掛にて積算の簡便化に関する見直し
- 〔変更〕
- 測定長に伴う補正について実態に合わせてほしいとの要望が多く, 測線長1km以上の補正係数について, 補正係数を用いないことと見直し。それに伴い, 注釈などの記述を見直し。補正係数の見直しを行ったものは以下のとおり。
- ・1-1節 「屈折法弾性波探査」
    - 1-1-1 「屈折法弾性波探査（発破法）」
    - 1-1-2 「屈折法弾性波探査（重合法；スタッキング法）」
    - 1-1-3 「屈折法弾性波探査（高密度法）」
  - ・1-2節 「浅層反射法探査（反射法地震探査）」
  - ・1-3節 「電気探査」
    - 1-3-1 「比抵抗法垂直探査」
    - 1-3-2 「比抵抗法水平探査」
    - 1-3-3 「比抵抗法2次元探査」

<p>(つづき)</p> <p>第Ⅳ編</p> <p>探査・計測・試験</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1-4 節 「地中レーダ探査」 <ul style="list-style-type: none"> <li>1-4-1 「地中レーダ探査（手押し型，ハンディ型）」</li> <li>1-4-2 「地中レーダ探査（車載型による路面下空洞調査）」</li> </ul> </li> <li>・ 1-5 節 「表面波探査」 <ul style="list-style-type: none"> <li>1-5-2 「高密度表面波探査」</li> </ul> </li> <li>・ 3-1 節 「主として土質調査で実施される孔内計測・孔内試験」 <ul style="list-style-type: none"> <li>3-1-3 「揚水試験」歩掛表を「揚水井」と「観測井」に分けて再整理</li> </ul> </li> <li>・ 3-4 節 「物理検層」 <ul style="list-style-type: none"> <li>*PS 検層の適用条件に付き，地質と測定間隔の関係について記述の追加</li> </ul> </li> <li>・ 4-1 節 「サウンディング」 <ul style="list-style-type: none"> <li>4-1-5 「電気式コーン貫入試験」 <ul style="list-style-type: none"> <li>*説明文の見直し</li> <li>*歩掛・直接経費の見直し</li> </ul> </li> <li>4-1-10 「液状化ポテンシャルサウンディング」 <ul style="list-style-type: none"> <li>*歩掛・直接経費の見直し</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・ 4-4 節 「その他の計測・試験」 <ul style="list-style-type: none"> <li>4-4-3 「CBR 試験」 <ul style="list-style-type: none"> <li>*乱さない試料の C B R 試験（水浸法）の説明文見直し</li> <li>*歩掛の見直し</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>【新規・追加】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1-7 節 「微動探査」 <ul style="list-style-type: none"> <li>1-7-1 「2次元・3次元微動探査」</li> <li>1-7-2 「1次元微動アレイ探査」</li> </ul> </li> <li>・ 2-11 節 「水収支調査費および水源調査費」 <ul style="list-style-type: none"> <li>*三角堰による場合の撤去に係る歩掛を新設</li> </ul> </li> <li>・ 3-1 節 「主として土質調査で実施される孔内計測・孔内試験」 <ul style="list-style-type: none"> <li>3-1-1 「標準貫入試験」玉石混じり土砂・軟岩の歩掛を追加</li> </ul> </li> <li>・ 3-3 節 「地すべり調査等で実施される観測」 <ul style="list-style-type: none"> <li>3-3-1 「伸縮計（地表）」に「自動観測」の歩掛を新設</li> <li>3-3-2 「傾斜計（地表）」に「自動観測」の歩掛を新設</li> <li>3-3-3 「パイプ式ひずみ計」に「自動観測」の歩掛を新設</li> <li>3-3-4 「挿入式孔内傾斜計」「自動観測」の歩掛を新設</li> <li>3-3-5 「伸縮計（地中）」の*多層移動量計・*伸縮計に「自動観測」の歩掛を新設</li> <li>3-3-6 「水位計」の「自動観測」の歩掛を新設</li> </ul> </li> <li>・ 4-1 節 「サウンディング」 <ul style="list-style-type: none"> <li>4-1-12 「土層強度検査棒を活用した調査・試験」 <ul style="list-style-type: none"> <li>*歩掛の新設</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
<p>第Ⅴ編</p> <p>土壌・地下水汚染調査</p>	<p>〔変更〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1-3 節 「土壌・地下水調査の標準的積算系統」 <ul style="list-style-type: none"> <li>*土壌・地下水調査の標準的な実施手順と標準的積算系統について，分かり易く解説を行い，対応する段階毎の歩掛について記述</li> </ul> </li> <li>・ 2-4 節 「ボーリング調査」歩掛構成等の一部見直し</li> <li>・ 3-2 節 「資料調査」注釈の一部見直し</li> </ul> <p>【新規・追加】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2-2 節 「表度調査」標準歩掛で条件とする数量に満たない場合の補正を追加 <ul style="list-style-type: none"> <li>*埋設物事前確認，*土壌試料採取および埋戻し，*土壌ガス試料採取，*土壌ガス現地分析，*位置測量</li> </ul> </li> <li>・ 2-10 節 「モニタリング」標準歩掛で条件とする数量に満たない場合の補正を追加</li> </ul>
<p>第Ⅵ編</p> <p>海上地質調査</p>	<p>〔変更〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2-2 節 「海上足場の種類と選択」説明文書の一部見直し</li> <li>・ 2-3 節 「海上足場組立解体費」歩掛構成・数量等の一部見直し</li> <li>・ 2-5 節 「機械組立解体費」説明文書，歩掛構成・数量等の一部見直し</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3-1 節 「共通仮設」 歩掛構成・数量等の一部見直し</li> <li>・ 4-1 節 「不稼働率と作業能率」 <ul style="list-style-type: none"> <li>4-1-1 「不稼働率」 船舶供用係数を参照する様，見直し</li> </ul> </li> <li>・ 4-2 節 「海上作業割り増し」 <ul style="list-style-type: none"> <li>4-2-1 「海上割増し」 <ul style="list-style-type: none"> <li>*船舶供用係数を参照する様，見直し</li> <li>*説明文書，算出例の見直し</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
<p>第Ⅶ編</p> <p>地盤材料試験</p>	<p>〔変更〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1-4 節 「土の粒度試験」 歩掛構成・数量等の一部見直し <ul style="list-style-type: none"> <li>*ふるい分析</li> </ul> </li> <li>・ 1-5 節 「土の細粒分含有率試験」 歩掛構成・数量等の見直し <ul style="list-style-type: none"> <li>*土の細粒分含有率試験</li> </ul> </li> </ul>
<p>第Ⅷ編</p> <p>共通仮設</p>	<p>〔変更〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第Ⅷ編共通仮設</li> </ul> <p>共通仮設は、業務効率化，安全な業務実施，働き方改革，女性活躍等の地質調査業の課題と密接に関連しており、国の様々な取り組みを念頭に新規追加や見直しを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1-1 節 「調査打合せ，現地踏査」 歩掛の見直し</li> <li>・ 1-2 節 「機材準備，跡片付け」 歩掛の見直し</li> <li>・ 1-3 節 「用地交渉」 条件設定による歩掛の追加</li> <li>・ 2-2 節 「交通対策費」 歩掛の見直し</li> <li>・ 2-3 節 「環境保全対策費」 説明文書の一部見直し，直接経費の見直し</li> <li>・ 2-6 節 「道路補修費」 説明文書の修正</li> </ul> <p>【新規・追加】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2-8 節 「安心トイレ」 <ul style="list-style-type: none"> <li>*作業場所周辺にトイレの無い状況を改善するため，仮設型トイレの歩掛を新設</li> </ul> </li> </ul>
<p>参考資料</p> <p>積算Q&amp;A</p>	<p>【充実化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 赤本による積算方法の掲載内容を充実化</li> <li>・ 諸経費改訂の経緯について説明</li> </ul>